



令和5年度 学校だより 3月号

なかお



第454号

令和6年2月22日

発行者 横浜市立中尾小学校

校長 廣瀬 ユミ

<https://www.educity.yokohama.lg.jp/school/es/nakao/>

感謝の気持ち

校長 廣瀬 ユミ

野に咲く菜の花を見かけるようになり、6年生が巣立つ時期が少しずつ近づいて参りました。

先日、5年生の企画委員が中心となって6年生に笑顔で卒業してほしいという思いを込め、1年生から5年生の子どもたちが6年生のために「ありがとうの会」を開きました。その会では、中尾小の伝統になりつつある1年生から5年生が共同で作上げた「ランドセル模型」をプレゼントしたり、6年生の心に響かせようと学年カラーが分かるバンダナを使って呼びかけが盛り込まれた替え歌を合唱したり、思い出に残るゲームを行ったりしました。その時の子どもたちの姿は笑顔いっぱいでした。6年生からは体育館に響き渡るような歌のプレゼントがありました。そして会の最後に6年の代表者は、「みんなの気持ちがそろった時、大きなパワーが生まれ達成感を味わうことができる。だから協力することは大事である。」ということ、自分の言葉を使って語っていました。この会を通して全校児童が一つになり、これからも楽しい学校にしていこうとする子どもたちの気迫が感じられ本当に感動しました。

さて、早いものでこの学校便りも今年度最後となりました。これまで保護者や地域の方々には様々な場面でご協力ご尽力をいただきました。学習面では地域や保護者の方々に来校していただき、子どもたちの前で貴重なお話をいただきました。また、校内の環境づくり、SDGs委員会を中心となって取り組んだフードドライブ、豊かな心を育む読書ボランティアによる定期的な読み聞かせなどでは、大人の方々からのご協力を得たことによって子どもたちは地域の方に支えられていることや愛情をいただいていることを肌で感じていました。私はこの愛情を実感しているからこそ子どもたちは今まで安心して学び、成長していくのではないかと感じました。また、本校の保護者や地域の方々、教職員が一体となるよう間をつないでくださった方々がPTA会長や役員の方々、そしてボランティア活動に率先して参加してくださった方々、地域コーディネーター、子どもたちの安全を常に考えてくださった見守り隊の方々です。様々な方々のおかげで今年もよりよい学校づくりをめざすことができました。これからも学校では子どもの資質や能力を育てていくために「質」にこだわった教育、自分で学ぶことのできる力の育成、グローバルな見方や考え方ができる子ども、お互いに尊重をし合える子どもを目指し、地域協働型の魅力ある学校を創っていきたくと考えています。そして、ご家庭でもご自分のお子様は未来を作る子どもたちであり、宝物であることを忘れず、常に家庭教育を通して、どんな子どもに育ててほしいか、またその理由を子どもたちにしっかり伝え、学校と連携を取りながら子どもたちを育てていただきたいと考えております。

令和6年度も「中尾小学校の子どもたちは仲よしですね。輝いていますね。お互いを尊重することができますね。」と言われるよう教職員が一丸となって子どもの育成をして参ります。

一年間、中尾小学校を支えていただき、また本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして本当にありがとうございました。重ねて心より感謝申し上げます。